

ボリビアリスザルが仲間入り リスザルの島7月3日(木)リニューアル

東武動物公園（東武レジャー企画(株)、埼玉県宮代町、取締役社長：石附栄一）では、ボリビアリスザル3頭を新たに迎え入れ、2025年7月3日(木)に「リスザルの島」をリニューアルオープンします。

「リスザルの島」は、池に囲まれた大小二つの島からなり、サルたちが二つの島を繋ぐロープを伝って移動したり、木の上でのんびり暮らす様子をご覧ください。また、オープンにあたり、ボリビアリスザルを福岡県の「海の中道海浜公園」と茨城県の「日立市かみね動物園」から迎え入れました。今後、新たな家族の誕生により賑やかな島になることを期待しています。

【オープン日】2025年7月3日(木)

【展示時間】10：00～17：00（園の営業時間により変動）

【展示動物】ボリビアリスザル（雄1頭、雌2頭）



※天候や動物の体調により展示が中止となる場合がございます。予めご了承ください。

【ボリビアリスザルについて】

主にボリビア、ブラジル、ペルーのアマゾン川上流域に生息する小型のサルです。体長は約25～37cm、体重は550～1100gで、尾は37～47cmの長さがあります。食性は雑食性で、果物や木の实、昆虫やカエルなどを食べます。群れで生活し、30～40頭の複雄複雌の群れを形成します。

【リスザルの島について】

2024年3月にリスザルの島で飼育していた9頭のリスザルが亡くなる火災が発生しました。出火原因は、飼育小屋にて暖房として使用していたヒーターの電気プラグの緩みにより接触部が過熱し出火したものと推察されました。このような事態を二度と発生させないためにも島の再開にあたっては、コンセントの緩み防止点検をはじめ、火災対策を強化しました。また、改めて亡くなったサルたちのご冥福をお祈りいたします。